

# 教え子の心に 花咲かせたい

## 温かい交流と熱い思い著書に

妙高市田口の高校講師、荒井豊さん(77)が学校での生徒との交流をつづつた「花咲く丘の高校生」(悠光堂)を出版した。ユーモアたっぷりな生徒に話し掛ける荒井さん



荒井豊さん

### 妙高の高校講師荒井さん

と、生徒たちとのやりとりが描かれている。

県立高校で英語を教えていた荒井さんは退職後も上越地域の高校で講師を務めている。著書は生徒との会話を中心に学校での日常を短編形式でつづっている。

荒井さんを「ゆーくん」と呼んだ生徒に対し「クンづけで呼ばれるたびに

歳が減り」と即興の句で返す様子や、授業に集中できない生徒の様子から家庭や進路での悩みに気づき、そっと声を掛けてあげる場面もある。就職した教え子を心配して自宅を訪ねたときの記述もある。

荒井さんはかつて「学力向上に主眼を置いた指導をしてきた」が、退職後は学力偏重の教育に疑問を持つようになった。

いまでは授業や授業以外の時間でも生徒に気を配り、健やかな成長を助きたいとの思いが強くなった。格差、競争社会とい

われる世の中に生徒を送り出す複雑な心境もつづられている。著書からは生徒の感性を伸ばし、社会性を育もうとする荒井さんの熱い思いが伝わ

荒井さんは「正直な気持ちを持ち続ける生徒たちにはかわいい。地道にやっていると認められる社会であってほしい」と願っている。

四六判207ページ、税込み1080円。県内の書店で販売している。問い合わせは悠光堂、03(6264)0523。